

# 市政ニコニコス

## ミシュランの協力を得て、豊岡・城崎温泉を発信！ 全但特急バス「ミシュラングリーンライナー」運行

城崎温泉が、フランス語版旅行ガイド「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」改訂第3版に★(近くにいれば寄り道をして訪れるべき場所の意)で掲載されました。これを記念して、全但特急バス「城崎大阪線(城崎温泉駅⇄大阪阪急三番街)」の1日1往復が「ミシュラン・グリーンライナー」として運行されています。ミシュランがデザイン



▲ラッピングは、ミシュランマンが望遠鏡で城崎温泉やコウノトリをのぞいているデザイン

制作に関わったラッピングバスは全国で初めてです。

7月10日、運行開始記念セレモニーがJR城崎温泉駅前で開催されました。式典にはミシュランコーポレートキヤラクター「ミシュランマン」と市マスコットキャラクター「玄さん」も出席しました。

また、当日、記念講演会を市役所城崎支所で開催しました。日本ミシュランタイヤ株式会社社長室長の森田哲史さんを講師に迎え、「『ミシュランとミシュランガイド』〜なぜタイヤメーカーがガイドブックを作ったか!?〜」と題した講演が行われました。



▲セレモニーで抽選を行い、ミシュラン社長のサインや株券をプレゼントしました。

## 新しい地域コミュニティのあり方検討委員会設置・ 「ユニティづくり」研修会開催

7月8日、市民や有識者で組織する「豊岡市新しい地域コミュニティのあり方検討委員会」を設置しました。

また、同日、新しい地域コミュニティづくり研修会を日高農村環境改善センターで開催しました。但東地域の地域づくりに関わってこられた島根

大学教育学部准教授の作野広和さんが「豊岡市における新しい地域コミュニティのあり方と具体像」をテーマに講演し、参加した多くの市民や関



▲講演会の様子

## 待望のプール完成！ 竹野小学校プール竣工式を挙

6月19日、竹野小学校(竹野町竹野)でプール竣工式が行われました。

昨夏まで使用していたプールは、老朽化による漏水などもあり、昨年9月から改築工事を進めていました。

当日は、雨天のためプール開きは延期になりましたが、式典には同校全児童が出席し、完成を祝いました。



▲完成した竹野小学校のプール

## 新たに選任された監査委員 (敬称略)

6月の市議会定例会での議決を経て選任されました。



▲上野和美

## 主な市政の動き

- 【6月】
- 15日・「植村直」冒険賞授賞式・記念講演会
- 19日・竹野小学校プール竣工式
- 28日・兵庫県消防防災航空隊合同訓練
- 29日・三木川、片間樋門改修工事竣工式
- 【7月】
- 1日・但馬定住自立圏に係る新温泉町との協定締結健康ワンポイント情報提供スタート
- 3日・豊岡市感謝状贈呈式
- 8日・豊岡市新しい地域コミュニティのあり方検討委員会設置・研修会
- 10日・「ミシュラン・グリーンライナー」運行開始

「歩いて暮らすまちづくりの推進」

## Dr.ジックの健康ワンプoint情報をFMジャングルなどで配信

市では、生涯、健康で生きがいを持って生き生きと暮らせる、健康あふれるまちづくりを進めています。

そこで、より気軽に楽しく健康づくりに取り組めるよう、健康ワンプoint情報を、7月

月からFMジャングル(毎週月曜日午前7時30分)、再放送毎週水曜日午後6時15分、再々放送毎週土曜日午後0時20分)や防災行政無線で提

供しています。

「健康ワンプoint」の初回

「歩いて暮らすまちづくり」と最終回(第14回)のまとめは中

貝市長が語ります。

第2回から第13回までは、

熊本大学教授で医師の都竹茂樹さんが、「ウォーキングだけでOK?」「トレーニング効果

は、何歳まで?」「酒席での賢い食べ方は?」など、運動や

食事に関するテーマに沿って、

クイズ形式で健康ワンプointを伝えます。

また、「健康ワンプoint」は、放送終了後編集し、市ホームページに掲載しますので

活用してください。



▲都竹教授(右)のFMジャングル収録風景

「コウノトリ野生復帰の取組みが教材に」

## 地域再生実践塾が開催されました

から28日にかけて本市を会場に開催されました。

主任講師に菊地直樹さん(総合地球環境学研究所准教授)を招き、コウノトリ野生

復帰を核とした生物多様性保全や環境経済の取組み、それ

によって元気になっている豊岡の姿を学び、地域づくりの

ポイントについて議論を深めました。

受講者は、北海道から福岡県におよぶ29人。青々とした田



▲田結湿地でのフィールドワーク

全国各地の特徴的な取組みを素材に、自らの地域の活性化について考える「地域再生実践塾」(財団法人地域活性化センター主催)が、6月26日



▲最終日の発表の様子

んほに舞い降りるコウノトリの姿に、「国内外あちこちを巡ってきたが、こんな風景は世界中でもここしかない」と話された方の言葉が印象的でした。

## 中貝市長の徒然日記 69

豊岡から冒険をたたえる

6月中旬、谷復興副大臣と共に首相官邸を訪れ、菅官房長官に会ってきました。

三浦雄一郎さんが世界最高齢でエベレスト登頂を果たしました。人々は熱狂し、政府

は、三浦さんの名前を冠した冒険賞を創設するとも。

「それは冒険だな」と言うとき、ほとんどの場合「やめて

おけ」を意味します。我が国では、冒険は必ずしも評価さ

れているとは言えません。日本では豊岡だけが挑戦者たち

をたたえてきました。その冒険に光が当たったのです。

目を向けていただいたことへのお礼、三浦さんも歴代冒

険賞受賞者も、本当に素晴らしいということを菅長官に訴

えてきました。

昨年の第17回植村直己冒険賞の受賞者は、ヒマラヤ8千

メートル峰14座全ての登頂に日本人として初めて成功した

竹内洋岳さんでした。うち11座は無酸素(酸素ボンベ不使

用)登頂です。

特別賞もありました。冒険賞第9回の受賞者でもあり、

自身の持つ女性世界最高齢エベレスト登頂記録を73歳で更

新した渡邊玉枝さんと、ガイド役として渡邊さんに同行し

た高所カメラマン、エベレスト登頂7回という日本人最高

記録を持つ村口德行さんです。

渡邊さんは、出発する前日に身内に「ちよつと行つてき

ます」と言つてさつさと登頂。竹内さんによると、8千メ

ートルという高さは、空気は地表の3分の1、人間がいき

なり放り出されたら5分で気を失い、10分で死ぬ、という場

所だそうです。そんな所を酸素ボンベを使わずに登るとど

うなるか。村口さんの話です。「3歩歩くとハアハア、ゼイ

ゼイとなり、息を整えてやつと次の3歩。また3歩。一度

に百歩行きたいと思うけど、できない。でも竹内さんは、

5歩も歩ける」冒険者たちの想像を絶する一歩一歩!

官邸に同行した冒険館長。「ぼくには官邸訪問が大冒険